

こだま Q&A

Q51

T-SPOT 検査の検体は、なぜ午後の集配便で回収してもらえないのですか。

A51

T-SPOT 検査とは、結核菌に特異的な抗原によってリンパ球を刺激すると産生されるインターフェロン- γ を指標として結核感染を調べる新しい検査です。信頼性の高い結果を得るために採血後、室温で保存し、「32時間以内に」検査を実施することになっております。そのため、外注先まで当日中に空輸し、翌朝検査に間に合わせる必要があります。

したがって、夕方までに検体が当検査センターに到着しておかなければならず、午前便での回収が必須条件となってきます。

▼T-SPOT 検査案内

検査材料 検体量	容器	保存	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値
血液 5.0ml	ヘパリン入り (G)	室温 18~25℃	3~6日	630点 ^{*1} 144点・免疫	ELISPOT法	陰性

- 予約検査のため、2日前（専用容器お届け等）までにはご予約をお願いいたします。
- 受託可能日は、月～金曜日の午前集配便となります。
- 他項目との重複依頼は避けてください。
- ご依頼方法：『検査依頼書 I』の欄外項目に T-SPOT とご記入ください。

※1 T-SPOT 検査は、診察又は画像診断等により結核感染が強く疑われる患者を対象として測定した場合のみ算定できる

お問合せ：☎代表 0120-14-7191(フリーダイヤル) / 082-247-7191(ダイヤルイン)

きやつちボール

今回の検査室発の記事は、『細胞診の判定コメント～細胞所見の文献的検討と細胞像のご紹介～』をお届け致しました。私どもは病医院の中の検査室と異なり、臨床の先生方と直接お話できる機会が少ないため、お伝えしたい情報が正確にお伝えできているかいつも気になっているところです。ご記入いただいた臨床情報を元に判定を行い、報告書へはなるべく多くの情報をわかりやすく記載するよう心がけています。

今回の記事では細胞診検査で特徴的な用語を細胞像と併せて掲載しました。細胞診係では、先生方に安心してご利用していただけるよう、努力してまいる所存ですので、今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。

矢口 裕子（検査科細胞診係担当科長補佐 兼 細胞診係係長）

広報委員

谷敷 圭美 / 亀石 猛 / 熊川 良則 / 田中 洋子 / 初岡 博 / 高磨 潤